

# 東海聖書神学塾

# 塾報

460-0022

名古屋市中区金山2-1-3

金山クリスチャンセンター3階

☎・FAX 052-321-7516

E-mail [tokai.seisyo.singakujuku@gmail.com](mailto:tokai.seisyo.singakujuku@gmail.com)

<http://ttsjpn.org>

2016年 12月

第64号



## 理事就任にあたって

東海聖書神学塾 教師

檀原久由

(安城ホーリネス教会牧師)

「継続は力なり。」この言葉は一つの真理を表していると思います。祈り続けること、聖書を読み続けること、学び続けること、伝道し続けること……。

四国から転任してきた時、東海地域のことが分からなかった私にとって、塾での先生方や兄弟との心温まる交流は、福音・宣教に対する学び直しになりました。一緒になって考え、一緒になって奉仕し、一緒になってこの地区での福音宣教に労する喜びと感謝の中で、一人のクリスチャンとして育てられたとってよいでしょう。「共に歩み」、「共に考える」ことは、この時代に生きる私たちにとって大変意義があることと思います。

かつては、多くのクリスチャンに名前が知られていた、伝道者や牧師がいました。その人たちの意見や考えが当たり前になっていて、その人たちに福音宣教をお任せするような時代でした。でも、今は、指導者の上からの意見や考えに従うだけではなくて、一人ひとりが考え、行動する時代となりました。AKB48 というアイドルグループには、特別な国民的アイドルはいません。自分にとってのアイドルが意識され大切にされる時代です。

東海聖書神学塾は一人ひとりの塾生を大切にしながら、奉仕する現場（教会）を大切に考えるに立っています。特別な賜物や才能や技能を持たなくても、主イエスの宣教の思いを大事にする、「一人のあなたと共に」歩むことを目指しています。教師も特別な存在ではなく、皆さんと同じ、一人の宣教の同労者なのです。これからも継続して塾の活動ができるように、東海聖書神学塾を覚えて、お祈りとご支援を宜しく願いいたします。

# 夏期伝道実習

私たちがお世話になった実習教会は日本バプテスト教会連合緑教会。河野勇一師、松田健志師、ライアンデイ宣教師と、信徒が一体となって伝道牧会が進められている素晴らしい教会。リックウォーレンとの出会いをきっかけに、各地にチャペルを形成し、コンビニ型教会を目指す伝道牧会。「神の像に創造された（ノンクリスチャンの）人々を礼拝に招き、信仰への入信、教会への入会、神と人を愛する生活、成熟と奉仕、世への宣教、そして神の栄光をあらわす」というゴールを明確にした教会教育。全てに教えられるところの多い実習になりました。（基礎科2年・伊藤和人）

今夏、同盟福音一宮キリスト教会での夏期伝道実習に塾生6名で参加し、CS、礼拝、こども集会奉仕と一宮クリスチャン史跡ツアーなどを行った。こども集会では新来者が4名与えられ、塾生チームでの紙芝居メッセージやゲームで楽しい時を持ち、次世代の祝福を祈った。また、史跡ツアーでは教会員の方々とともに身近な発見に驚き「殉教者の血は教会の種である」ことをかみしめ、祝福と励ましを受けた。次回伝道実習も主に期待したい。

（基礎科1年・白川和志）

7月7日～10日まで豊橋ホサナキリスト教会に受け入れていただき、塾生6人で夏期伝道実習をさせていただきました。

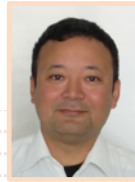
私は初めての实習で緊張しましたが、教会学校での説教や礼拝での証のご奉仕などさせていただき、また先生から個人伝道の大切さを教えられました。いつも通う教会ではない場所で、塾生6人で協力して仕える経験から、一致すること、謙遜になることも教えられました。今後の教会での奉仕や交わりに生かしていきたいと思ひます。

（基礎科1年・木倉麻美）

## 進級して学ぶ中で

ヨハネ15:2 わたしの枝で実を結ばないものはみな、父がそれを取り除き、実を結ぶものはみな、もっと多く実を結ぶために、刈り込みをなします。

多くの方々の祈りにささえられて、信徒奉仕者コース（基礎科）での所定の学びを3年間で終え、進級試験に合格し、2016年の4月から教職志願者コース（専門科）で学びをさせていただいていることを感謝します。試練によって信仰が試されるということ、学びや奉仕、経済問題、人間関係の中で体験しています。説教の課題の中で第一コリント13章の愛について説教準備しながら「本当に愛の実を結んでいるか」問われ、神学英語ではオズワルド・チェンバーズの説教の翻訳をしながら神の召しについて、深く探られています。しかし、聖書を読み祈る中で、心の平安が与えられます。いつも基本に帰る中で、刈り込まれる時の痛みと苦しみに耐える力を、主が与えてくださっています。感謝。



専門科1年 高島史弘  
豊橋ホサナキリスト教会

## 秋のリトリート



恒例のリトリートが、10月2日(日)夕～翌日午後にかけてレイクサイド入鹿にて持たれました。集会における講師には、入川達夫師を迎え「なぜ伝道するのか」「伝道の根本原則」のテーマで、2回にわたり伝道を担うことの意義についてお語りくださいました。また参加者それぞれの分かち合いにて、日本伝道会議に出席された方々よりホットな話題も飛び交いました。寝食を共にして学び合う良きひとときが与えられました。感謝です。（基礎科3年・関口廣志）





## 第6回 日本伝道会議 参加報告



去る2016年9月27日(火)から30日(金)にかけて 神戸コンベンションセンターにおいて、7年ぶりに日本伝道会議が開催されました。神学塾からは、河野理事長をはじめ、運営委員の末松師、鴨下師、マレーネ師ほか、多くの塾の先生方と、専門科から3名、基礎科から1名の計4名の塾生が参加しました。

福音的な教会の教職、信徒、約2000名程が集まり、それだけでも、価値あるものでした。主講師のクリストファー・J・H・ライト博士が、ローザンヌ誓約の流れにあって、神の宣教的視点から、聖書を語ってくださいました。

関西の多くの神学生が、奉仕していました。7年後の日本伝道会議は、名古屋でという案も語られました。神さまの、この地域への期待を覚えます。  
(専門科1年・高島史弘)

### 牧師夫人講座

「牧師夫人講座」は、牧師夫人の奉仕のために必要な学びと同じ奉仕をしておられる皆さんの主にある交わりの場です。隔週1度の2年間のコースには長年牧師夫人として奉仕しておられる方々の証しを聞くクラスもあります。今迄に30名程の方が修了しておられます。牧師夫人の皆さん、ぜひ、あなたも「牧師夫人講座」にご参加ください。



伊東光子  
信愛キリスト教会

私がこの講座を知ったのは、結婚する前で、ぜひ学びたいと思っていましたが、子育てに追われ、チャンスがありませんでした。夫とともに教会に仕える者とさせていただいて4年が経ちましたが、日々育児に奮闘しながら教会のためにできることはわずかで、葛藤がありました。しかし今回、学びを勧めてくれた夫や教会の方々の協力を頂いて、この貴重な時が与えられ心から感謝しています。学びでは、まず純粋にみことばのすばらしさに感動しています。そしてこのすばらしい福音を人々に届けたいという思いが内側から湧いてくるのを感じます。また、同労のご夫人方の存在に励まされ、祈り合える友と与えてくださったことも主の大きな恵みです。この学びを通し、自分自身が砕かれ、練られて主に用いられやすい器へと成長させていただくことができますように祈りつつ学んでいます。「私たちはこの宝を、土の器の中に入れていくのです。第IIコリト4:7」



早川明珠  
春日井聖書教会

私の夫は東海聖書神学塾の卒業生で、春日井聖書教会の牧師として働いています。子育てが落ち着いたら自分も聖書について、また神様についてより深く学びたいと思っていました。しかし、主婦が自分のために時間を割くことはなかなか容易ではありませんでした。そんな中、信仰の友である小牧プレイズチャーチの牧師夫人のリ・スギョンさんを通してこのコースを知るようになりました。忙しい日常からちょっと離れ自分を振り返ってみる時間、また神様と自分を見つめ直す時間としてとても有意義だとスギョンさんは積極的に勧めてくれました。まだまだ子育ては進行形だし、家事や教会の奉仕も続いています。今年はいろんなことを恐れずに進むように神様から言われて勇気を出し入塾を決めました。恵みの時間に感謝し、二週間に一度の講座を楽しみにしています。



鄭 志謙  
Grace Truth Church

来日して30年を迎える今年の春、東海神学塾入塾2回目の挑戦となりました。主人から牧師夫人講座の入塾を勧められた時、すぐに断りました。なぜなら、16年前、同講座を途中まで受講したことがあり、自分の年齢で勉強を始めるのには遅すぎると思ったからです。しかし、牧師夫人としての27年間、無我夢中に自分なりに牧会に力を注いできましたが、牧会について知らず知らずのうちに固くなってしまった自分を省み、学びを通じて新たな力を得ることができればという期待を胸に入塾を決めました。車移動ばかりの生活の中で、隔週1回の地下鉄通学は新鮮で良い刺激となっています。また、我が家に神様と与えてくださった初孫の世話の息抜きにもなって感謝です。講座に参加されている方々との交わりと毎回新たな発見がある授業を楽しみに励んでいます。



舛田直子  
愛ホープチャーチ

月に二回の学びは、先生方を通して、聖書の救いの豊かさについて、解りやすく教えて下さり、新鮮な気持ちで、御ことばを聞くことができています。普段は、教会での奉仕や、在り方について、考えることが少ないのですが、改めて気づかされ、教えられる時となっています。授業では、一、二年生が共に学び、別の教団教会の方々とも、交わりの時が与えられています。入塾するきっかけは、周りの方からの勧めでした。また、私自身が聖書の理解が必要なので、学ばなければならないという思いで、スタートしましたが、喜んで学んでいることに気づかされ、感謝な気持ちで通っています。この機会を通して、神さまに仕える者として、成長し、日常生活の中で、生かされていけますように願っています。

## 行事報告

- 後期授業を前にした10月2日(日)～3日(月)、レイクサイド入鹿にてリトリートを持ちました。入川達夫師によって「伝道の実践」について学ぶとともに、よき交わりのときを持ちました。
- 10月25日、理事会を開くとともに、塾生を送り出してくださっている教会の牧師と塾の運営委員との懇談会を持ちました。
- 今年度の10月までに、上沼昌雄先生、ブルーエット宣教師ご夫妻、西村信恵宣教師(カンボジア)をチャペルに迎えることができました。
- 12月2日(金)には教会より一足早く、塾のクリスマス礼拝(説教者:名古屋南福音自由教会の和田賢治牧師)を持ちます。
- 年が明けて1月31日(火)には、吉川直美先生(聖契神学校教師・シオンの群教会牧師)を迎えて第32回女性公開講座を予定しています。テーマは「多忙な生活での霊性」(仮題)です。～別紙案内をご覧ください～
- 5月16日(火)には、日本福音主義神学会・中部部会の講演会にお迎えする藤本満先生(イムマヌエル総合伝道団代表・高津教会牧師)によって、夜、神学塾主催の「公開講座」を計画しています。後報をお待ちください。

(塾生主任・河野勇一)

## 教務報告

- 「収穫は多いが働き手は少ない。だから収穫の主、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」マタイの福音書9章38節
- 2017年1月6日(金)入塾説明会を行います。時間は午後二時と五時半の二回です。来年度の入塾を希望される方は、お気軽にお越しください。
- 来年度の入塾願書締め切りは2月27日(金)までです。また、入塾試験は3月3日(金)午後1時です。願書をご希望の方は神学塾にお問い合わせください。また、ホームページからもダウンロードすることができます。
- 東海聖書神学塾は随時、見学者を受け入れています。入塾前に授業光景を見てみたいという方は、神学塾にお問い合わせください。

(教務主任・鴨下直樹)

## 2017年度 塾生募集

- 東海聖書神学塾のコースは以下の5つです。
  - 教職志願者コース「牧師、宣教師等に召された人のため/週2、3日の学びで5年程」
  - 信徒奉仕者コース「信徒牧会者・信徒伝道者等のため」
    - \*週2日、昼または夜だけの学びの場合は4年程、昼夜の学びの場合は2年程で修了
  - 女性奉仕者コース「教会の女性奉仕者のため/毎週の金曜日の学びで2年」
  - 牧師夫人講座「牧師や宣教師夫人だけのため」/隔週の金曜日の学びで2年」
  - アドヴァンスコース「牧師や神学塾の卒業生のため/毎月一度月曜日の学びで1年単位」
    - \*入塾願書をご希望の方は、どうぞ郵便で当塾へご請求ください。{返信用の切手92円同封}
- 当塾は教会から推薦された献身者のみを受け入れる方針を堅持しておりますので、入塾希望者は必ず所属教会の牧師の指導を受けると共に、教会役員会で召命と献身を確認して頂き、教会全体の支援を受けて入塾できるように準備してください。
- 2017年度の入塾説明会は 2017年1月6日(金) 午後2時～と5時半～
  - 同 入塾願書の締め切りは 2017年2月17日(金) 必着
  - 同 入塾試験(筆記・面談)は 2017年3月3日(金) 午後1時～ (全員)